

社会科学学習指導案

日時 2006年11月10日(金) 6教時
14:00~14:50

生徒 ニセコ町立ニセコ中学校3年A組21名
指導者 教諭 田村 仁

1. 単元名

「3. 国民生活と福祉」
「① 政府の仕事と租税(2/2)」(本時)

2. 単元について

生徒にとって最も身近な税金と言えば、「消費税」である。もちろん現在の消費税が5%であることも知識として押さえている。更に、新聞やニュース等で消費税が5%から10%に引き上げられるかもしれないことも多くの生徒は知っている。だが、その「消費税」がどのような目的で導入され、なぜ今、10%にまで引き上げられなければならないのか、消費税を現在より5%引き上げることで誰にとってプラスなのかはわかってはいない。税金そのものを日頃から意識していないが、その単語が出てきたときには、「政府に取られているお金」「無理矢理支払わされているお金」といった意識が働いてしまっている。多分、家庭においても税金を悪者として話題に上がっているものと考えられる。それほど税金は身近な存在なのである。しかし、身近な存在であるにも関わらず、多くの生徒は、中身を知らない。これが、「税金」である。「羊が鳴かないように税金を取るのが税の極意である。」と元内閣総理大臣の発言にこのような言葉があった。税金は空気のような存在であり、国民に意識させないことが大事である。そのため納税には、様々な工夫がされていることに気づかせたい。しかし、税金がなければ我々の生活は成り立たないことにも気づかせたい。そこで自分たちの生活を振りかえさせ、話し合わせることから学習を始めることにした。

本時では、給与収入から納める税金「所得税」について学習していく。そこで前時に学習した消費税(間接税)と比較することにより、所得税が国民にとって公平に徴収されていることを意識させたい。また、それを「累進課税制度」であることを知識として押さえさせたい。

本単元は、5つの内容で構成されているが、身近な税金から財政の課題、今後、生徒にとっても大きな課題となる社会福祉、環境問題につながり、そして、現在の日本社会を自ら分析する流れとなっている。一つ一つ考え、気づくことで、日本の経済の仕組みが解き明かされるのである。このことから前時の授業をしっかりと確認し、理解させながら授業を展開していくこととする。

3. 研究の視点との関わり

(1)基礎・基本を明確に位置づけ、効果的な指導を進めるための指導計画の工夫

この単元でいう基礎・基本とは、税金の種類や制度を認識し、国や地方公共団体(行政)が果たしている経済的役割・諸問題を理解することである。そのために、単元の構成は、社会資本・租税・財政・社会福祉・公害問題・日本の諸課題と段階的に日本経済の仕組みや課題が理解できるようになっている。そこで、身近な「消費税」から生徒たちの興味関心を高め、社会資本・公共サービスの存在につなげていく。そして、グループ活動を通して、「税の公平性」に気づかせ、その後、財政のはたらきのところで「公債」の存在を明らかにしていく。そして、現在の日本の借金額を提示することで行政の課題を強く意識づけていきたい。多くの資料・グラフを提示し、写真やデータから多くのことを考えさせ、自ら気づくように工夫していきたい。

単元指導計画の中では、「いつ」・「どこで」・「何を」・「どのように」評価(評価規準)するのかを明確にし明記した。このことで押さえなければならないポイントがより明確になるのではと考えた。

(2)基礎・基本を重視し、意欲的な学びを促す問題解決の場面設定や指導方法の工夫

一単位時間の中で押さえなければならない目標をまず単元指導計画の中で明確にした。本単元は、実生活の中ではあまり意識することが難しい内容であるため、生徒自身が興味・関心を持って主体的に学ぼうとする意欲を引き出させる授業展開が求められる。そこで、導入のところで、生徒たちが最も興味を引く教材を用意し、授業に集中させることにした。本時のところでは、1,000万円という現金を見せることでお金に対する人間の欲を出させる工夫を凝らした。また、写真やグラフから日本経済が抱える問題を導き出させたり、新聞から現在の課題を抜粋し、自分なりの考えをまとめさせるように工夫してみた。生徒の「なんで?」といった疑問と「へえ〜」といった驚き、発見を一単位時間の中にちりばめたい。

(3)一人一人の学びを共感的にとらえ、観点や場面・方法を明らかにした指導改善に生かす評価の工夫

一単位時間の中での評価を1つ、ないし、2つと少なくすることでポイントを絞った評価をおこなうこととした。多くはプリント提出での評価となってしまうが、観察や発表での評価も多く取り入れた。特に授業中の生徒の発言、発想を大事にし、フィードバックすることで、一人一人の学びを全体の学びにしたい。グループ活動も発言を促す工夫であり、自分の考えを表現する訓練として多く導入していきたい。自分の考えをより多く出させる発問とフィードバックを心掛けて、授業を展開していくこととする。

4. 生徒の実態

○全体的な様子

学習に対する意欲が高い。しっかりノートを取り、教師の話に耳を傾けている。グループ活動でも積極的に参加しようと努力してる。また、毎時間小テストを実施していることもあり、重要語句を覚えようと多くの生徒が努力している。しかし、自分の考えを表現することに抵抗を感じている生徒が多く、発表する生徒もほぼ限定されてしまっている。その半面、文章に書かせると自分の考えを明確に表現でき、社会的な思考力・判断力が備わっていることが伺える。そこで、小グループ単位での話し合いを多くして、少しでも自分から意見を出させる工夫をしている。本時においても、グループ活動を取り入れ、発言する機会を増やしていく。

○本単元における様子

政府の仕事と租税から単元がスタートするが、生徒の様子を見ていると納税をしていることの意識が薄いように感じられる。発問をすれば、「消費税」という単語が返ってくるのが予想されるが、何のために消費税が導入され、税金が何に使われているかは理解していないだろう。自分が納税をしていることすら意識していないかもしれない。これが間接税の利点であることに気づかせ、税への興味関心を高めていきたい。そして、財政の問題、政府の課題を身近なものとしてとらえ、新聞やニュースなどを通して、自分の考えを整理できるようにしたい。本時では、「消費税」から「所得税」へと話題を切り替え、「納税の公平さ」について考えさせたい。そして、「税を取られている」から「税を納めている」へ意識を変えていきたい。

このクラスは、新しい発見に出会うと更に新たな発見を目指して学習を深めていける力を持っている。身近なものを上手く活用して、更に発問にも工夫を凝らして、生徒たちの学習意欲を高めていきたい。

5. 単元目標・評価規準

(1) 単元目標

- 国や地方公共団体（行政）が果たしている経済的な役割を理解させ、それに伴う諸課題について自ら考えようとする態度を育てる。
- 身近で具体的な事例を通して、現実の経済に対する関心を持たせ、更に個人と社会との関わりを客観的にとらえ直し、その意味についての理解を深めさせ、経済についての見方や考え方の基礎を育てる。

(2) 評価規準

社会的事象への関心・意欲・態度	社会的な思考・判断	資料活用の技能・表現	社会的事象についての知識・理解
・経済活動や現実の経済に対し関心を持ち、経済上の諸課題を意欲的に追求できる。	・租税や財政についてお互いに意見を交換し、社会保障に関して学習を深めることで、国や地方公共団体（行政）が果たしている経済的な役割を考えることができる。 ・経済上の諸問題を、自ら考え、判断することができる。	・写真やグラフ、統計資料から日本の財政と現代社会の特色を読みとることができる。 ・新聞やニュースから経済や暮らしに関する記事を見つけ、日本経済が抱える諸課題についての考えを整理することができる。	・国民生活と福祉の向上を図るため、国や地方公共団体（行政）が果たしている事柄についてのあらましを理解し、それらが果たしている経済的役割について説明することができる。

6. 単元指導計画

	学習目標 ○身近な事例を通して、社会資本と公共サービスの提供を政府が行っていることに気づき、政府が果たしている役割を考える。									
	主な学習内容・思考の流れ									
政府の仕事と租税 1/7	<p>社会資本と公共サービスって何だろう？</p> <ul style="list-style-type: none"> ●民間企業を補い民間企業では供給されにくい施設って何がある？ (社会資本) 高速道路・公園・一般道路・学校・電柱・信号機 公民館・飛行場・水道管・線路・・・ ●民間企業を補い民間企業では供給されにくいサービスって何？ (公共サービス) 警察官・消防士・公立学校教員・役場・公立図書館などの仕事 <p>確かに、社会資本や公共サービスに民間と同じように料金がかかってしまったら、家計は圧迫されるし、収入の差によって受けられるサービスが異なってくる。不平等な社会だね。こんなにいっぱい税金でまかなわれているんだ。</p> <p>政府の仕事に必要なお金って、どこから来るのだろう？</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;">税金</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;">国 税</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;">地方税</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;">直接税</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;"></td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;"></td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;">間接税</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;"></td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;"></td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">直接税 (担税者＝納税者) 間接税 (担税者≠納税者)</p> <p>こんなにたくさんの所から税金が納められているんだ。最近、商品の価格はほとんど税込み表示となり、納めているって感覚は無いに等しいよね。必要だと分かっているけど、意識させないで納税をさせるのってどうなのかな～税金ってどんな使われ方をしているんだろう？</p>	税金	国 税	地方税	直接税			間接税		
	税金	国 税	地方税							
直接税										
間接税										
	教師の関わり・評価									
	<p>【関心・意欲・態度】 社会資本や公共サービス、租税について関心を持ち、自分たちの身近な問題としてとらえている。(観察)</p> <p>【知識・理解】 税制の大まかな仕組みと役割について理解し、その知識を身につけている。(プリント)</p>									
政府の仕事と租税 2/7 (本時)	学習目標 ○累進課税制度の意義と公平さについて考え、理解する。									
	主な学習内容・思考の流れ									
	<p>所得税って、どうやって集めるの？ いくら納めればいいのか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ●納入方法とは？ 源泉徴収・確定申告 ●所得税を納めよう！ <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 年収 1,800 万円以上のグループ 年収 900 万円以上、1,800 万円未満のグループ 年収 330 万円以上、900 万円未満のグループ 年収 330 万円未満のグループ </td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px; vertical-align: middle;"> ※それぞれの立場になって考える事が前提 </td> </tr> </table> <p>どのくらい税を納めるのが妥当か、それぞれの立場から意見を出させる。グループ意見交換・全体意見交換</p> <p>高所得者にしてみれば、たくさん税金を取られているって意識になるし、低所得者にしてみれば、納税すら家計を圧迫してしまふ。できれば納めたくはないはず。両者が納得できる方法はないのだろうか？ どちらの意見も理解できるから難しい。</p> <p>累進課税制度って、どんな制度？</p> <ul style="list-style-type: none"> ●累進課税制度とは？ 所得に応じて税率を設定し徴収する制度 (所得税・住民税) ●累進課税制度は、公平な税制度なのか？ 	年収 1,800 万円以上のグループ 年収 900 万円以上、1,800 万円未満のグループ 年収 330 万円以上、900 万円未満のグループ 年収 330 万円未満のグループ	※それぞれの立場になって考える事が前提							
年収 1,800 万円以上のグループ 年収 900 万円以上、1,800 万円未満のグループ 年収 330 万円以上、900 万円未満のグループ 年収 330 万円未満のグループ	※それぞれの立場になって考える事が前提									
	教師の関わり・評価									
	<p><資料提示> 1,000 万円を見せる</p> <p>【関心・意欲・態度】 班の話し合いに積極的に関わり、他の意見を尊重しながら、自分の考えや意見をまとめようとしている。</p> <p>【思考・判断】 公平さに目を向けて、納税方法を考えられる。</p>									

累進課税制度は、よく考えられた制度だと思う。だけど全ての人が納得できる制度だとは言えないかな～。「公平」と言えば「公平」だと思うけど、景気や経済状況を見て、税率も変化させていく必要があるね。まず、国民がしっかり「税」の在り方を押さえる必要があるね。

学習目標 ○歳入・歳出における内容を具体的に学習し、財政について関心を持つ。
○財政の動きを理解するとともに、資料の読み取りを通して財政の課題について考える。

主な学習内容・思考の流れ

教師の関わり・評価

「財政」って何のこと？

政府の収入(歳入)と支出(歳出)による活動

- 歳入で一番多いのは？
税金による収入ではなく 公債金(つまり借金)だった。
- 歳出で一番多いのは？
社会保障関係費だった。福祉にお金ってかかるんだね。
- 借金(公債)はしっかり返しているの？
毎年借金を返せないのに、また次の年には借金をしている！
借金が年々膨らんでしまっている。
この先どうしたらいいのだろうか？<グループ討論>

【知識・理解】

政府の歳入・歳出における内容、その違いについて気づき、財政の動きについて理解し、知識を身につけている。(プリント)

<資料提示>
日本借金時計

財政の歳入の中で、最も多いのが公債(借金)だなんて、ビックリした。歳出の中で、その借金が完済できていないことにも驚いた。国の借金がどんどんふくれあがっていくことがわかった。でも、どうすればいいんだろう。税金を増やすことしかないんだろうか。それに、少子高齢化を迎え、社会保障関係費も膨らんできた。国民は苦しい生活を強いられるのかな？

財政の役割って何だろう？

公共サービス・所得の再分配景気の調整(財政政策)
※金融政策もあることを伝える

【技能・表現】

日本のあるべき姿について、資料を基に自分の考えをわかりやすく発表する。(発表・プリント)

財政の果たす役割は、年々増加していることはグラフを見てもよく分かる。税金を納めることは大切だってことも何となく理解できた。だったらその税金がどんな使われ方をしているのかを国民がしっかり見ていかなくてはダメなんだよね。でも、税金の額って、景気によっても上下するって初めて知った。経済の調整をする役割もあるんだね。

インフレーション・デフレーションとは？

現在の日本の景気を考えよう

学習目標 ○社会保障の基本的な考えと日本の社会保障制度の概略を理解する。
○少子高齢社会の現状とこれからの社会保障の在り方について考える。

主な学習内容・思考の流れ

教師の関わり・評価

社会保障って何だろう？

- 「働かざる者、食うべからず。」って正しい？
世の中には、働きたくても働けない人が大勢いることを確認
個人ではどうすることもできない場合がある！
- 憲法でも最低限の生活が保障されている。覚えていますか。
憲法第25条「健康で文化的な最低限度の生活を営む権利」
- 社会保障の種類は？

社会保険・・・病気、老後に備える保険
公的扶助・・・生活費給付
社会福祉・・・障害者、高齢者などの生活保障
公衆衛生・・・医療、公衆衛生

【知識・理解】

社会保障の基本的な考えと日本の社会制度の概略を理解し、その知識を身につけている。(発表・プリント)

<資料提示>

OHP(写真)

社会保障関係費が歳出の中で一番割合が大きい。グラフを見て驚いたけど、国民の4人に1人が高齢者になる時代がやってくるんだね。つまり、労働者人口が少なくなるっていうことだよ。税金は誰が納めてくれるんだろう。社会保障にかかるお金は、益々増えるばかり。税金って本当に大切。でも、公共サービスが有料化になる時代が来てしまうのかな。

少子高齢社会の問題点を整理してみよう。

- 平均寿命が延びているけど、男女それぞれ何歳ですか？
男性78.07歳 女性84.93歳
- 出生率が低下しているけど、どのくらい？
1家庭に1.3人の子ども
国民の4人に1人が65歳以上なんだって！

生産年齢人口の減少・・・つまり所得税や住民税の収入が減少する
高齢者の人口増加・・・社会保障費の増大

消費税の税率の引き上げに YESかNOか？
グループ毎に話し合う。
〔グループ討論→全体討論〕

<資料提示>
OHP (グラフ)
【技能・表現】
少子高齢社会に関する資料 (表やグラフ) から問題点を導き出し、今後の政府の在り方、自分にできることなどをまとめて、発表することができる。(発表・プリント)

税金の大切さは、よく分かった。消費税がなぜ導入され、また、なぜ引き上げられようとしているのかも分かった。だけど、やっぱり、税金の使い方をもっと整理する必要があるように思う。本当に必要なお金をお金をかけることが最も大切だよ。やはり、国民を代表する政府が責任を持って財政を進めていくべきだし、国民はもっと関心を持って政府の活動を見ていくべきだと思う。

学習目標 ○公害の発生の原因には様々なものがあることを理解する。

主な学習内容・思考の流れ	教師の関わり・評価
--------------	-----------

公害って何だろう？
●公害の種類ってあるの？
公害は7種類に区分される
大気汚染・水質汚濁・土壌汚染・騒音・振動・地盤沈下
悪臭
意外に身近に存在している

味覚実験 (ミネラルウォーターと水道水飲み比べ)

【知識・理解】
公害の種類と発生の原因、それに伴う環境汚染や自然破壊について理解するとともに、環境を守ることの重要性に気づく。(プリント)
<味覚実験>
水道水・ミネラルウォーター準備

公害って7つに分類されるんだ。自分たちの町をよく見てみると公害って思えることがたくさんあるよね。水の飲み比べでもよく分かったけど、「気づかない」ことが問題なのかもしれない。意識を持って身の回りを見るのが大切だね。

公害のそんなに大きな問題なんだろうか？

- 今まで、どんなところでどんな問題が起こっているの？
四大公害裁判
新潟水俣病・四日市ぜんそく・イタイイタイ病・水俣病
(田中正造の写真から足尾銅山鉱毒事件を説明)
- 公害の背景にあるものって何だろう？
資本主義社会と高度経済成長！

水俣病の映像 (VTR)

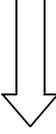
【関心・意欲・態度】
身近な問題として公害に関心を示し、映像を真剣に見たり、実験に積極的に参加している。(観察)

水俣病の映像を見て、そこに住む人々の気持ちが初めて分かった。なぜ、こんなに被害が拡大してしまったのだろうか。やっぱり利益優先の資本主義社会がこの問題を放置してしまったんだろう。国の責任もあるよね。

公害防止と環境保全 6/7	学習目標	○環境を守るためにはどうしたらよいか、また、どんな関わりや行動ができるかを考える。	
		主な学習内容・思考の流れ	教師の関わり・評価
		<p>環境を守るために日本人は何をしてきたのか？</p> <p>1967年 公害対策基本法制定 1971年 環境庁設置（現在の環境省） 1977年 環境アセスメント制定 1993年 環境基本法制定</p> <p>※環境省発表の「全国香り100選」を紹介</p> <p>●あなたが22世紀まで残したい、日本の香りと音って何ですか？</p> <p>新聞記事紹介</p> <p>身の回りを見て、環境を守るためにあなた（個人）ができること、企業、行政ができることをレポートに書きなさい。</p>	<p>新聞記事</p> <p>【思考・判断】 環境を守るためにどうしたらよいか、また、どんな関わりや行動ができるかについて、国や地方公共団体、企業、個人など様々なレベルで考察できる。（レポート）</p>
		<p>「国に責任がある！」って言ったけど、国も法律を整備して公害問題に対処していたんだ。でも、国ばかりに頼るっていうのも国民としてはどうなんだろう。自分に一体何ができるんだろう。レポートを書くにあたり、しっかり見つめてみよう。</p>	
日本経済の課題 7/7	学習目標	○新聞記事から日本経済にどのような課題があるか気づく ○「豊かさ」「豊かな社会」とは何かについて話し合いを持ち、経済活動の意義や今後の社会の在り方を考える。	
		主な学習内容・思考の流れ	教師の関わり・評価
		<p>バブル経済って何だろう？</p> <p>●日本で最も「たかいビル」ってどこにあるか知っていますか。 「たかい」＝「高さ」と思いがちだが、ここでは「土地の価格」について扱う。 東京銀座 1平方メートル＝1,376万円</p> <p>企業や銀行の保有する資金が株や土地の購入にまわり、株価や土地の価格が泡のように膨らんでいった。</p> <p>バブルが崩壊するってどんなこと？</p> <p>●多額の不良債権って何？ ●日本経済はまだ、不況なの？</p> <p>これからの日本経済は、どうなるの？ サービス・ソフト産業・情報通信産業の時代へ</p> <p>新聞記事から日本の経済の課題を見つけよう！</p>	<p>ビルの写真提示</p> <p>新聞を準備させる</p> <p>【技能・表現】 新聞記事の中から課題にあった資料を収集、選択し、まとめたり、説明している。（プリント・発表）</p> <p>【関心・意欲・態度】 新聞記事などの資料を活用した学習に意欲的に取り組むとともに、日本経済の特徴や課題に関心を持っている。（観察・プリント）</p>
		<p>「バブル」ってよく聞くけど、こんな景気のいい時代があったんだ。でも、そんな時代も泡のように消えてしまった。今の景気は、どうなんだろう。新聞記事から何かわからないだろうか。ちょっと調べてみよう。</p>	

7. 本時の展開(2/7)

学習目標	累進課税制度の意義と公正さについて考え、理解する。							
	主な学習内容・思考の流れ	教師の関わり・評価						
導入 8分	<p>田中投手の年俸を確認</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">札束を見て、いくらあるか予想してみよう。</div> <p style="text-align: center;">一千万円がどのくらいの量か確認</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">収入(一千万円)を全額、手にすることができないことを知らせる。収入から何が引かれるかを考える。</div> <div style="display: flex; justify-content: center; align-items: center; margin: 10px 0;"> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 0 5px;">所得税</div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 0 5px;">住民税</div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 0 5px;">年金</div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 0 5px;">健康保険</div> を納め </div> <p style="text-align: center;">ていることを確認</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">憲法第30条 納税の義務</div> <p style="text-align: center;">納税は国民の義務であることを再確認</p> <p style="text-align: center;">税金が様々な方法で徴収されていることを再確認</p>	<p>駒大苫小牧の田中投手の年俸1500万円を紹介(OHP)</p> <p>札束(一千万円)を提示(生徒を前に集める)</p> <p>給与明細を提示(OHP)</p> <p>一千万円からそれぞれ引いていく。(税を納めていることを強調)</p> <p>税の種類を提示(OHP)</p>						
課題解決	<div style="border: 3px double black; padding: 10px; text-align: center; margin-bottom: 10px;"> 所得税の納め方について考えよう。 </div> <p>(1) 方法</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">源泉徴収 (サラリーマン)</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">確定申告 (個人事業者)</div> </div> <p>(2) 所得税の金額決定</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 10%; vertical-align: middle;">グループ</td> <td style="width: 30%; border: 1px solid black; padding: 5px;">年収1800万円以上</td> <td style="width: 30%; border: 1px solid black; padding: 5px;">年収900万円以上 1800万円未満</td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: middle;">ープ</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;">年収330万円以上 900万円未満</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;">年収330万円未満</td> </tr> </table> <p>それぞれの立場になって、所得(年収)からどのくらい税金を納めるのが妥当か理由を合わせて考え、発表する。(グループ活動)</p> <p style="text-align: center;">納税金額は下のパターンから選ぶ</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>パターン1: どの人も所得から一律100万円を納入</p> <p>パターン2: どの人も年収の10%の金額を一律納入</p> <p>パターン3: それぞれ年収の金額にあった税率の金額を納入</p> <p>パターン4: その他(もっと他に妥当と思われる方法)</p> </div>	グループ	年収1800万円以上	年収900万円以上 1800万円未満	ープ	年収330万円以上 900万円未満	年収330万円未満	<p>ニセコヤンキースへの入団契約 プリント配布</p> <p>グループに年俸の金額が書かれた用紙を配布</p> <p>※所得水準の高さの異なるグループを作る</p> <p>班で話し合わせる。 パターン(OHP)</p> <p>どのパターンが最も妥当か理由を明確にして発表させる。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px; text-align: center;"> 【関心・意欲・態度】 班の話し合いに積極的に関わり、他の意見を尊重しながら、自分の考えや意見をまとめようとしている。(観察) </div>
グループ	年収1800万円以上	年収900万円以上 1800万円未満						
ープ	年収330万円以上 900万円未満	年収330万円未満						

<p>課題解決</p> <p>37分</p>	<p>それぞれの班からどのパターンの納税方法が妥当かを発表する。 (意見交流)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">累進課税制度</div> <p>(公正な徴収方法であることを確認)</p> <div style="display: flex; justify-content: center; gap: 20px;"> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">所得税</div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">住民税</div> </div> <p>(現在の徴収方法を紹介)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● <u>所得に応じて税率を設定し徴収する</u> <p>プリントに自分の所得にあった税率を記入 (計算はあと)</p> <p>高額納税者とその金額を知る</p> <p>高額納税者が陥りやすい問題を確認する</p> <div style="text-align: center; margin: 20px 0;">  <p>対称的な徴収方法</p> </div> <p>(パターン2で税金が徴収されていることを紹介)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● <u>だれからも一律に税金を徴収する</u> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">商品を購入すると同時に行う納税</div> <div style="display: flex; justify-content: center; gap: 20px; margin: 10px 0;"> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">消費税</div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">酒税</div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">たばこ税</div> </div> <p>などの間接税</p> <p>低所得者ほど税負担の割合が大きくなる</p>	<p>【思考・判断】</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; background-color: #f0f0f0;"> <p>それぞれの立場から公平な納税方法を考え、累進課税制度が適した方法であることに気付く。</p> <p>(発表・プリント)</p> </div> <p>累進課税の税率表 (OHP)</p> <p>2007年の税率紹介 (OHP)</p> <p>長者番付を紹介する (OHP)</p> <p>脱税の記事を紹介 (OHP)</p> <p>(収入が多いほど納税金額が多くなることに抵抗感が生じるが、「公平性」を考えたときに金額にあった税率で納入額を決定させることが最も妥当であることに気付く。)</p>
<p>まとめ</p> <p>5分</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> <p>税は、社会資本や公共サービスを提供するために絶対必要である。よって多くの国民が納得できる方法できちんと徴収していかなければならない。累進課税制度は、この意味からも国民全体を考えた公正な制度と言える。</p> </div> <p>※生徒同士の話し合いの中からこの考えを引き出させる。</p> <p>自分の所得税を計算</p> <p>納税に関して自分の考えをまとめる</p>	<p>教科書 p 124 政府の経済活動の確認</p> <p>プリントに記入</p>